

俳句

清和

木々朗

青空にきらり彩刷く吹流し
碧き空舞い上げている鯉のぼり
味噌餡も加えて貰うや柏餅
初夏の宵想い出ゆらすワインの朱
地に天に新木場街や若葉風

雑詠 改元

細田安治

平成に お名残り惜しや 山つつじ
はしゃぐなと 歴史悠久 神の杜もり
上杉の 先祖御安堵 為せば成る
鷹山公ようざん まなぶは 国の礎と
春まだか 蔵王のお釜 雪のなか
雲海に 蔵王道は 雪の壁



蔵王道に雪の壁